

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 15日提出

所 属	職 名	氏 名
文学部英文学科	教授	秋篠 憲一
研 究 題 目	中世英国ロマンスの研究- Auchinleck 写本のロマンス	
研 究 成 果 の 概 要	<p>(1) 中世英国の popular romance である Sir Bevis of Hamtoun とその source である Anglo-Norman 語で書かれた Boeve de Hauttone の比較分析をおこなった。今後は、英国ロマンスの特徴に論点をしぼり、また Auchinleck 写本の中におけるこのロマンスの役割について研究し論文にまとめたい。</p> <p>(2) 中世英国ロマンス研究の一環として、Sir Thomas Malory の Le Morte Darthur における Lancelot と Arthur の王妃 Guinevere の不倫の恋を描いた「荷車の騎士」のエピソードの役割・機能について研究した。荷車の騎士を最初にロマンスとして完成させた 12 世紀フランスの詩人 Chretien de Troyes の Lancelot、さらにこの物語が挿入されている 13 世紀フランスの The Vulgate Cycle の散文 Lancelot のテキスト分析を行い、どのように Malory が Arthur 王ロマンスの集大成とも言うべき Le Morte Darthur においてこの物語を adapt(改作)したのかを研究し、今その成果を論文にまとめている。この研究によって、フランスのロマンスが英国においてどのように受容され変容していったかを調べたい。</p>	